

公開実用 昭和63- 169020

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭63- 169020

⑬ Int. Cl.⁴

A 45 D 40/00
33/00

識別記号

庁内整理番号

Z-6671-3B
Z-6671-3B

⑭ 公開 昭和63年(1988)11月2日

審査請求 未請求 (全 頁)

⑮ 考案の名称 口紅等の化粧料容器

⑯ 実 願 昭62- 61686

⑰ 出 願 昭62(1987)4月22日

⑱ 考 案 者 河 西 豊

神奈川県鎌倉市岩瀬1丁目2番3号 株式会社資生堂大船工場内

⑲ 考 案 者 井 上 隆

神奈川県鎌倉市岩瀬1丁目2番3号 株式会社資生堂大船工場内

⑳ 考 案 者 堀 野 輝 男

東京都中央区銀座7丁目14番6号 二和印刷株式会社内

㉑ 出 願 人 株 式 会 社 資 生 堂

東京都中央区銀座7丁目5番5号

㉒ 出 願 人 二 和 印 刷 株 式 会 社

東京都中央区銀座7丁目14番6号

㉓ 代 理 人 弁 理 士 竹 内 裕



明 細 書

1. 考案の名称

口紅等の化粧料容器

2. 実用新案登録請求の範囲

- (1) 化粧料(3)を担持したベースシート(1)と、
該ベースシート(1)の表面に重畳され化粧料
(3)を被覆するカバーシート(2)とからなり、
カバーシート(2)には透明フィルム(5)で封
塞した窓孔(4)がベースシート(1)上の化粧
料(3)に整合して形成され、該窓孔(4)は開
封自在とされていることを特徴とする口紅等
の化粧料容器。
- (2) ベースシート(1)及びカバーシート(2)が
所望の面積を有し、複数の化粧料(3)を担持
していることを特徴とする実用新案登録請求
の範囲第1項記載の化粧料容器。
- (3) ベースシート(1)及びカバーシート(2)が
細長い帯状をなし、ロール状に巻回自在であ
ることを特徴とする実用新案登録請求の範囲
第1項記載の化粧料容器。



3. 考案の詳細な説明

(産業上の利用分野)

この考案は、口紅、アイシャドウ、頬紅等の化粧料のための容器に関し、特にこれら化粧品を試供品として提供するのに適した容器に関する。

(従来の技術及びその問題点)

従来、口紅、アイシャドウ、頬紅等の化粧料の試供品を提供するための容器は、プラスチック製の皿状容器若しくはプラスチック製の簡易繰り出し容器の形態であり、一つの容器で一種類一色の化粧料しか提供出来ない為、試供品の提供色数や提供方法が限定される欠点があった。

又、従来の容器は立体的な形状を有しており、容器自体が高価である為、試供品の数を増加させると必然的にコストの上昇を避けることが出来なかったと共に、ハンドバック等への収納時に嵩ばってしまい携帯に不便を来していた。

(問題点を解決するための手段)

この考案は、従来のものにみられた前記問題点を解決せんとするものであって、化粧料(3)を担



持したベースシート(1)と、該ベースシート(1)の表面に重畳され化粧料(3)を被覆するカバーシート(2)とからなり、カバーシート(2)には透明フィルム(5)で封塞した窓孔(4)がベースシート(1)上の化粧料(3)に整合して形成され、該窓孔(4)は開封自在とされていることを特徴とする。
(作用)

ベースシートに担持された化粧料を、カバーシートで被覆し、該カバーシートに形成された透明フィルムで封塞された窓孔から視認することが出来ると共に、窓孔を開封することにより化粧料を使用することが出来る。ベースシートとカバーシートを所望の面積、形状に形成することにより一枚のシートに複数の化粧料を担持させたり或は、ロール状に巻回して提供することが出来る。

(考案の効果)

この考案によれば、化粧料の容器をシート形状で提供出来るので安価で取り扱いに便利であり、試供品として最適なものを提供出来る。

シートの形状、面積を変えることにより、一枚



のシートに複数の化粧料を保持させたり、或はロール状に巻回可能な形態で提供することが出来る。担持された化粧料はカバーシートで被覆保護されているので、化粧料の揮発や変質を防止出来ると共に、バージン性の保障が出来る。又透明フィルムで封塞した窓孔を通して化粧料を視認できるため、内容物の確認が容易となり、試供品として最適である。

(実施例)

以下に図面を参照しつつ、この考案の好ましい実施例を詳細に説明する。図において、(1)はベースシート、(2)は該ベースシート(1)の表面に重畳されるカバーシートである。ベースシート(1)の表面は化粧料の油分が浸透しない非浸透性に形成される。ベースシート(1)は所望の面積を有し、複数の化粧料(3)を適宜の間隔を存して担持する。カバーシート(2)はベースシート(1)と同一の面積を有し、ベースシート(1)に担持された化粧料(3)の位置に整合する窓孔(4)が形成され、該窓孔(4)は透明フィルム(5)で閉塞され、化粧料(3)



の揮発防止、変質防止或は開封迄の保護を図ると共に、窓孔(4)を通して化粧料(3)を外部から視認することが出来る。開封は、透明フィルム(5)を剝離、除去することにより可能であり、この際第2図に示すように、透孔(4)の周縁(7)にハーフカット状の切取線(6)を形成し、第8図に示すように透明フィルム(5)を除去する構造が望ましい。

ベースシート(1)には、化粧料(3)を担持するために好ましくは第7図に示すように若干凹設され、該凹設部(8)内に化粧料(3)を流動状態で充填し固化させてベースシート(1)に担持させる。ベースシート(1)上の化粧料(3)の充填は一色ずつ個別に充填しても、同時に多色充填を行っても良い。

ベースシート(1)とカバーシート(2)とは、第4、5図に示すように一枚の連続したシート材から成り、両者の中央部の折曲線(9)によりカバーシート(2)をベースシート(1)の表面上に重畳して、接着剤(10)で接着して一体化する。しかしな



がら、第9、10図に示すように、ベースシート(1)とカバーシート(2)とを別体に形成し、ベースシート(1)上にカバーシート(2)を重ねて接着剤(10)で接着するようにしても良いことは勿論である。

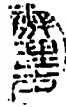
第1～8図に示すように、ベースシート(1)とカバーシート(2)とを一体に連続したシート材で形成する場合、 $100 \sim 200 \text{ g/m}^2$ 程度の厚みの紙若しくは合成紙の両面に厚み $10 \sim 20 \mu$ の透明なプラスチックフィルムを積層したシート材を用い、ベースシート(1)に凹設部(8)を型押し成形すると共に、カバーシート(2)に外面側のプラスチックフィルムを残して窓孔(4)を形成し、該窓孔(4)の周縁を外面からハーフカットして切取線(6)を形成する。又、第9、10図に示すように、ベースシート(1)とカバーシート(2)とを別体で構成する場合、ベースシート(1)は化粧料の油分が浸透しない材質で形成し、カバーシート(2)を前記第1～8図と同様の透明プラスチックフィルムを積層したシート材で形成する。



シート(1)(2)を紙又は合成紙で形成することにより、非常に安価に提供することが出来る。

第1～10図に示す実施例では、一枚のシートに複数の化粧料(3)を担持させてあるが、第11～13図に示すように、ベースシート(1)とカバーシート(2)とを細長い帯状に形成し、ロール状に巻回可能にしても良い。この場合、窓孔(4)を封塞する透明フィルム(5)を剝離自在に形成して、第13図に示すように、舌状片(11)を指で持ち引き剝して開封する。シート(1)(2)は、担持された隣接する化粧料(3)の中間に形成されたミシン目(12)により、化粧料毎に切断可能である。

第14～16図は、前記第1～10図に示す実施例において、カバーシート(2)の上面に表示シート(13)を被覆して、化粧料の商品説明や化粧料の耐光性向上を図るようにしたものであり、図示の実施例にあつては、ベースシート(1)の一例(カバーシート(2)と反対側の)に表示シート(13)を連設し、第15図に示すように順次折り重ねたものである。表示シート(13)の形成は、かかる第14～16図のも



のに限られないことは勿論であり、第17～22図に示すような種々の形態で形成可能である。

4. 図面の簡単な説明

図面はこの考案の好ましい実施例を示すものであって、第1図はベースシートとカバーシートとの重畳前の状態を示す斜視図、第2図は重畳状態を示す斜視図、第3図は重畳前の平面図、第4図は同側面図、第5図は重畳状態を示す側面図、第6図は第3図VI-VI線に沿った拡大断面図、第7図は第3図VII-VII線に沿った拡大断面図、第8図は窓孔の開封状態を示す拡大断面図、第9図は一変形を示す断面図、第10図は同変形の一部拡大断面図、第11図は他の変形を示す斜視図、第12図は該変形に係る一単位の平面図、第13図は第12図ⅩⅠ-ⅩⅠ線に沿った拡大断面図、第14図は更に他の変形を概略的に示す重畳前の側面図、第15図は同変形の重畳状態を示す側面図、第16図は同斜視図、第17～22図は更に他の変形を示す図である。

(1)…ベースシート (2)…カバーシート

(3)…化粧料 (4)…窓孔



- | | |
|--------------|-------------|
| (5) … 透明フィルム | (6) … 切取線 |
| (7) … 周縁 | (8) … 凹設部 |
| (9) … 折曲線 | (10) … 接着剤 |
| (11) … 舌状片 | (12) … ミシン目 |
| (13) … 表示シート | |

実用新案登録出願人 株式会社 資 生 堂

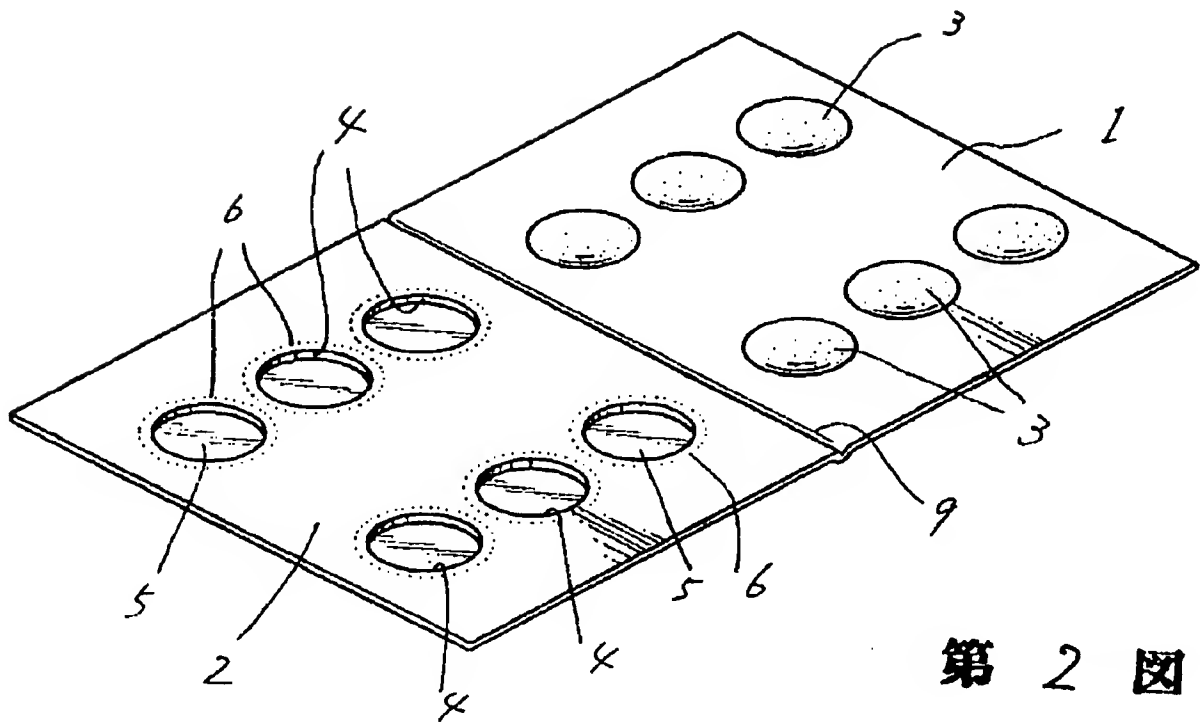
//

二 和 印 刷 株 式 会 社

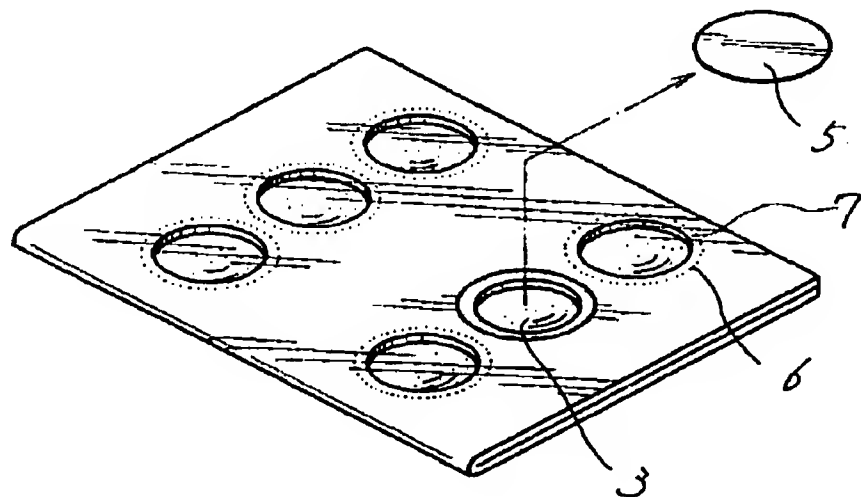
代 理 人 井 理 士 竹 内 裕



第 1 図

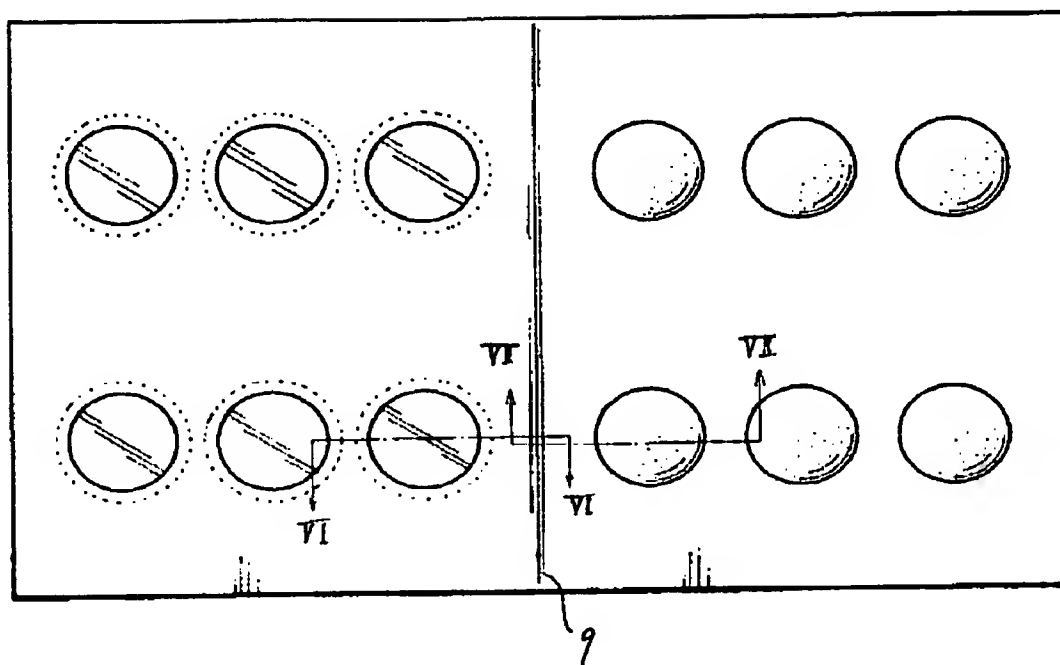


第 2 図

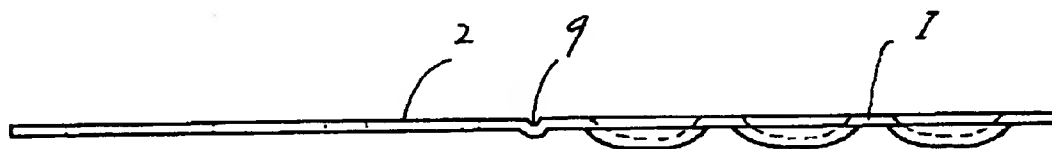


213

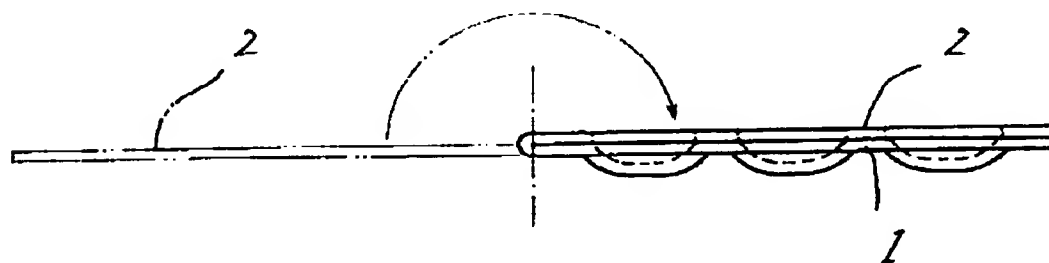
第 3 图



第 4 图



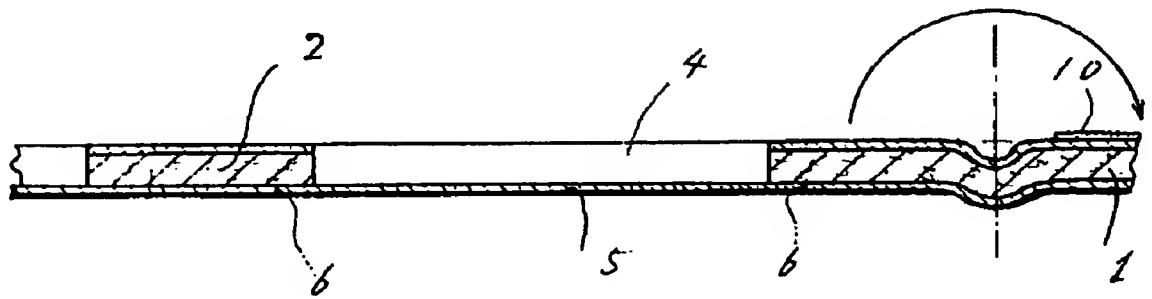
第 5 图



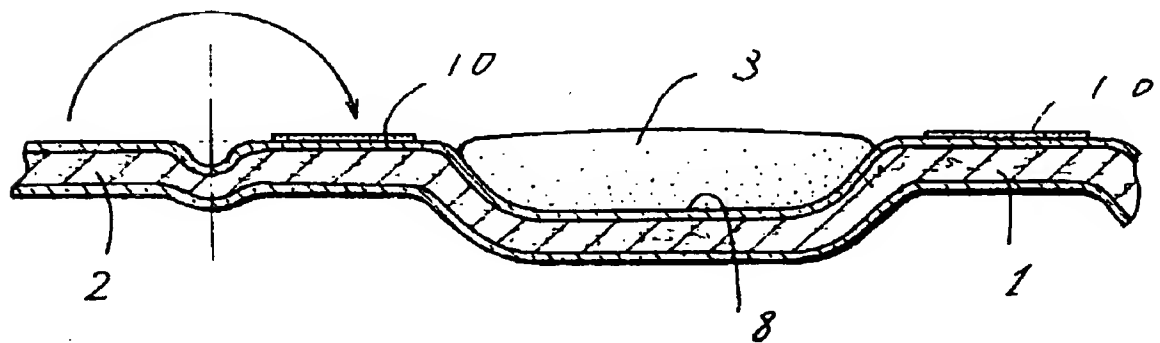
214

实图 13-163020

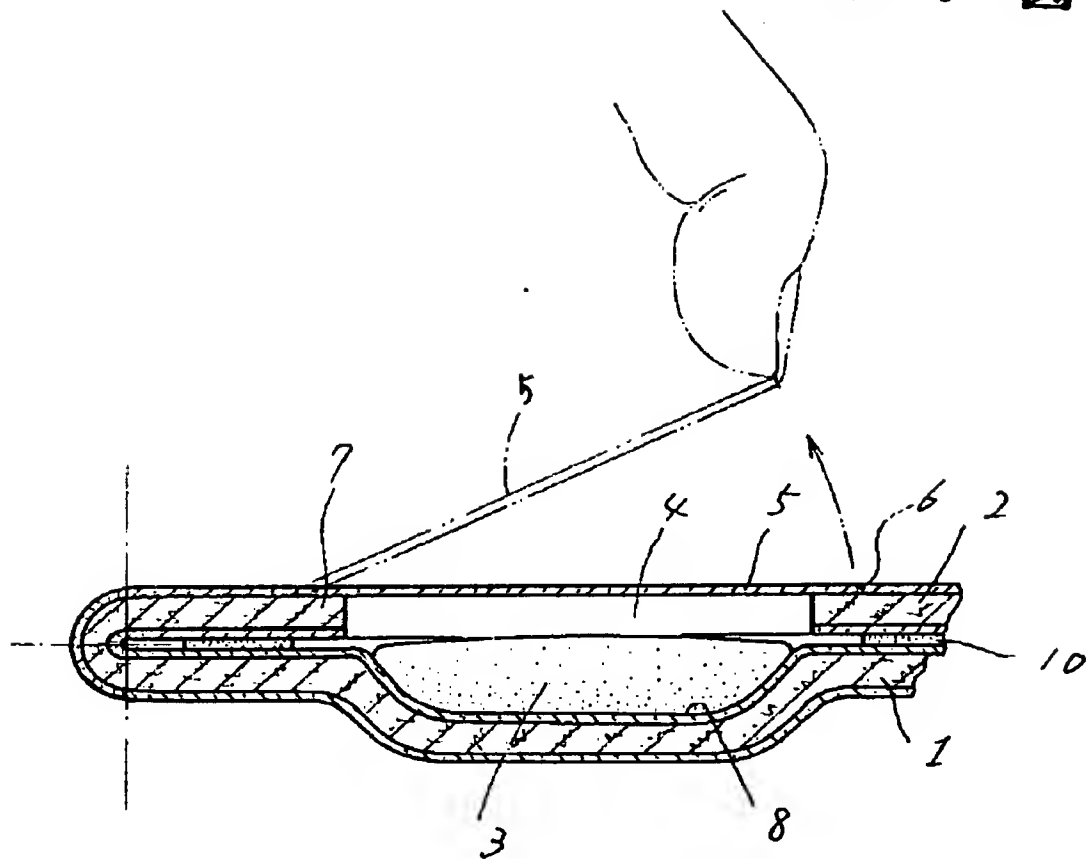
第 6 図



第 7 図



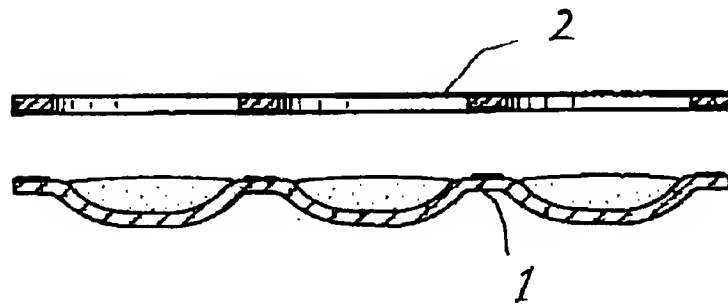
第 8 図



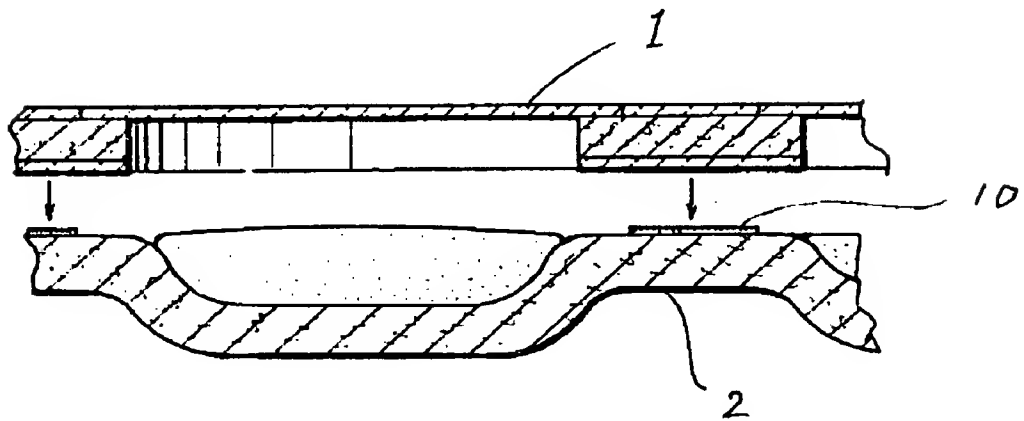
216

実開 63-16902 0

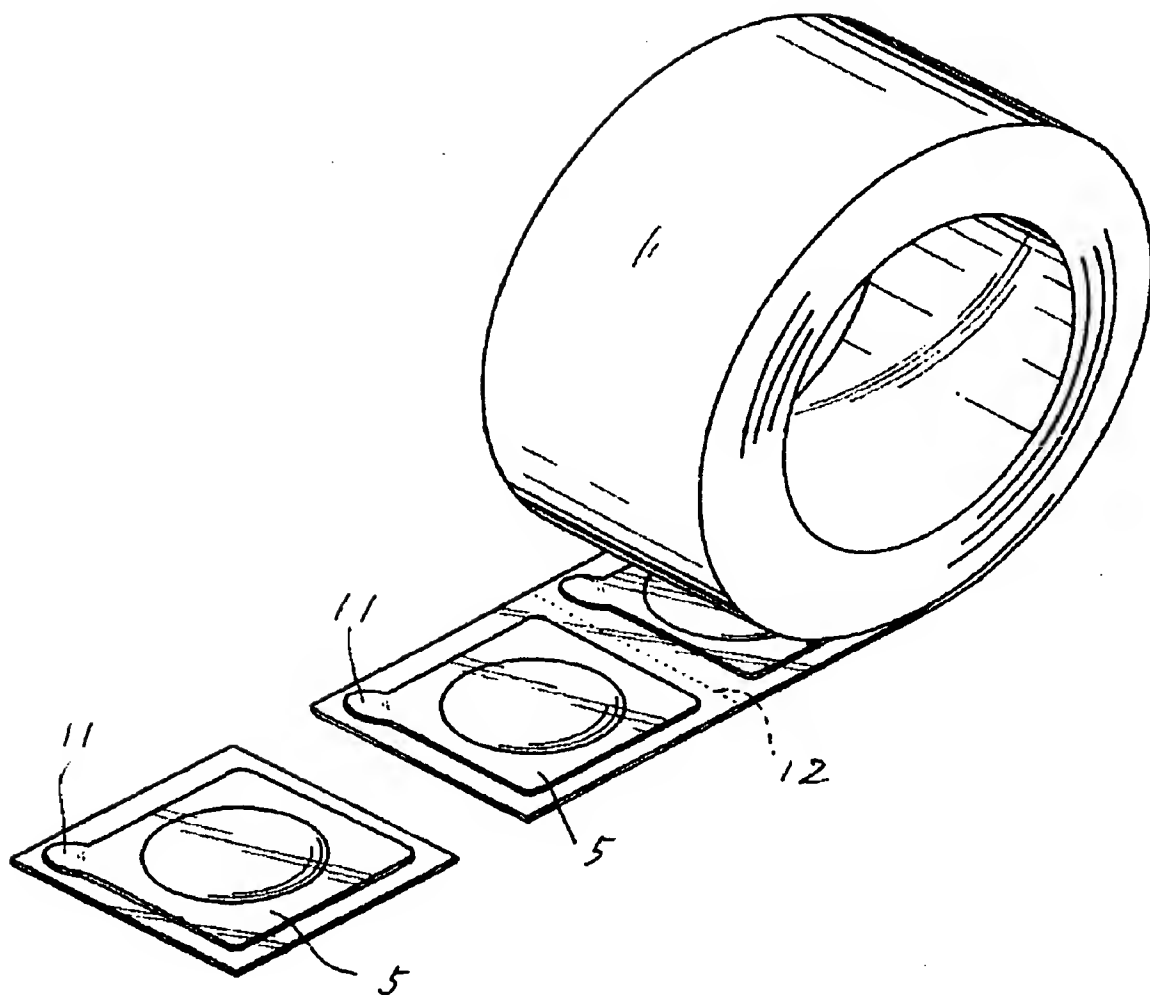
第 9 図

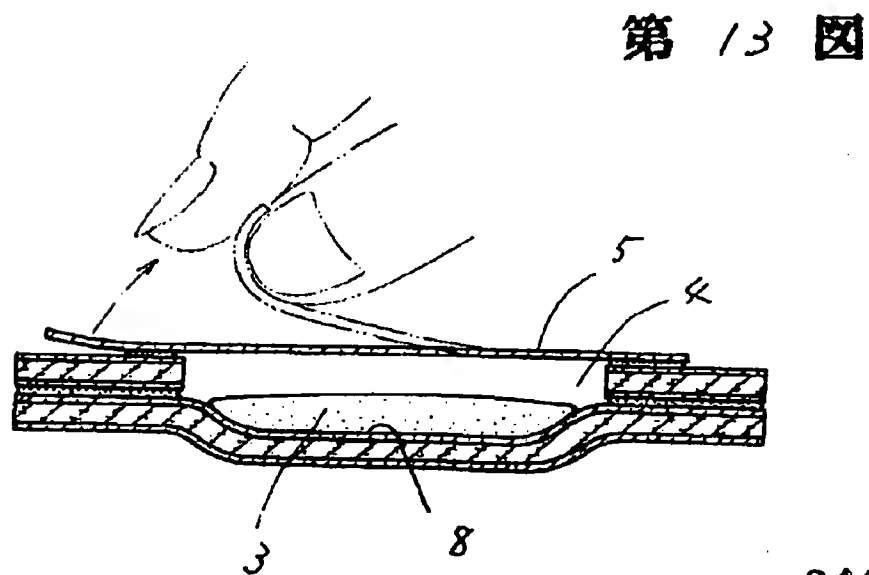
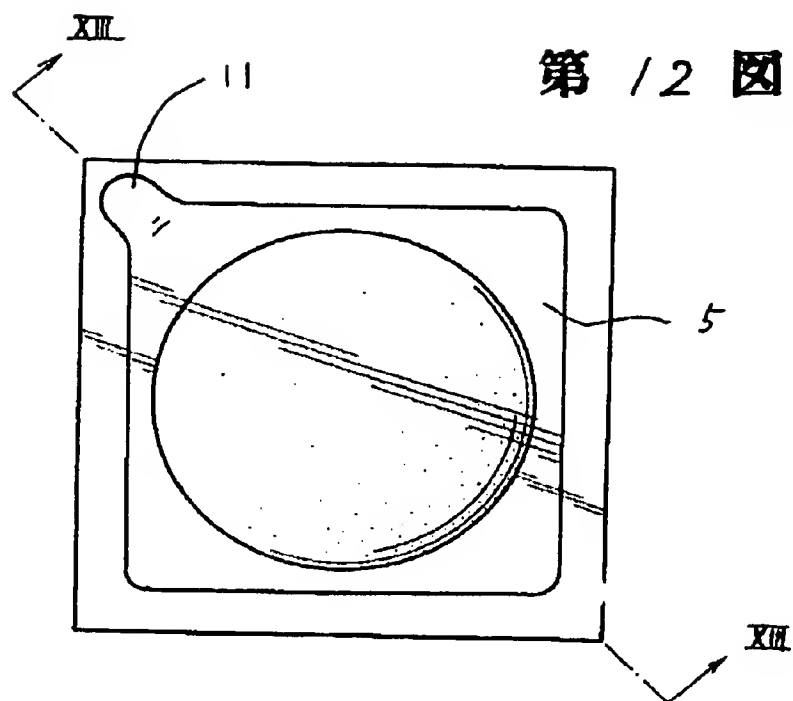


第 10 図

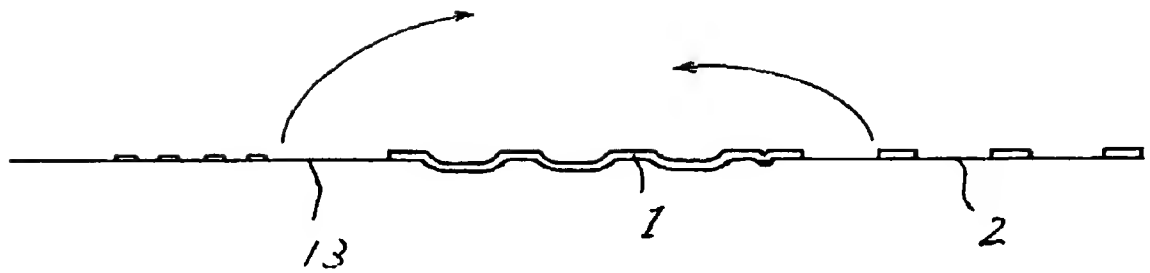


第 11 图

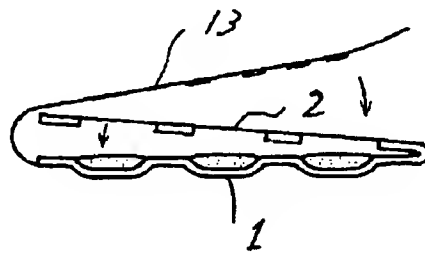




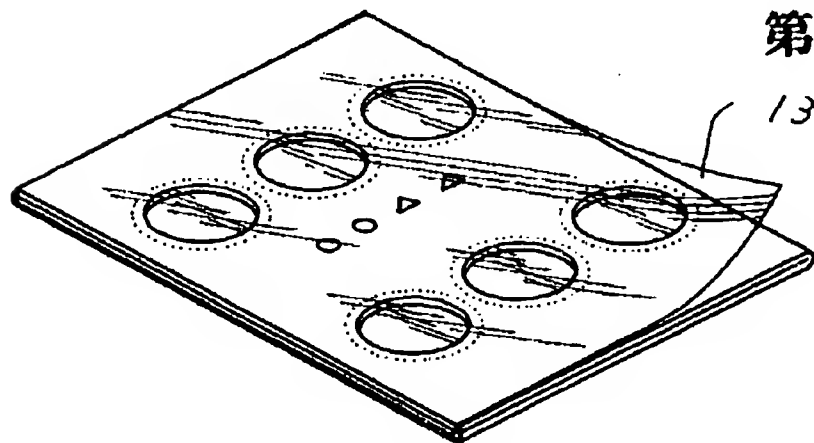
第 14 图



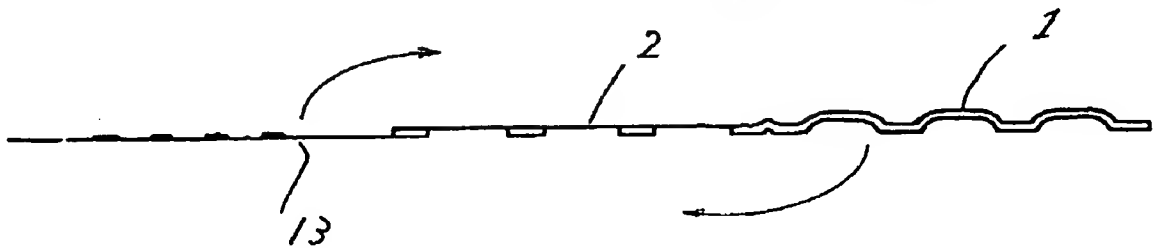
第 15 图



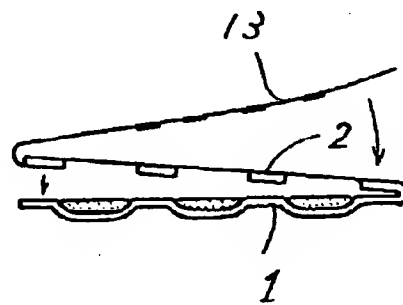
第 16 图



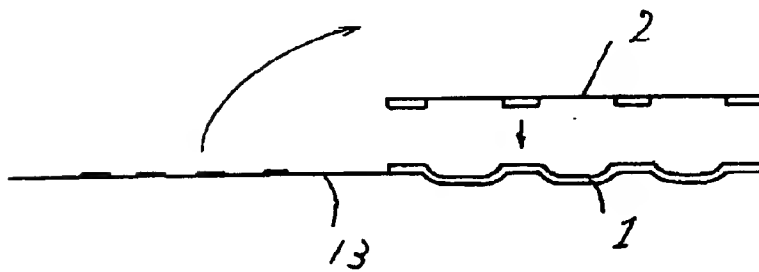
第 17 図



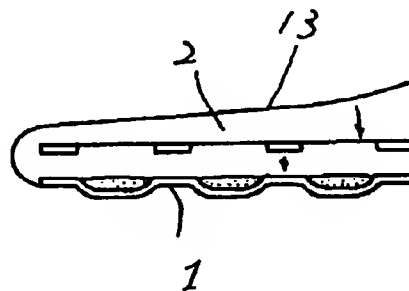
第 18 図



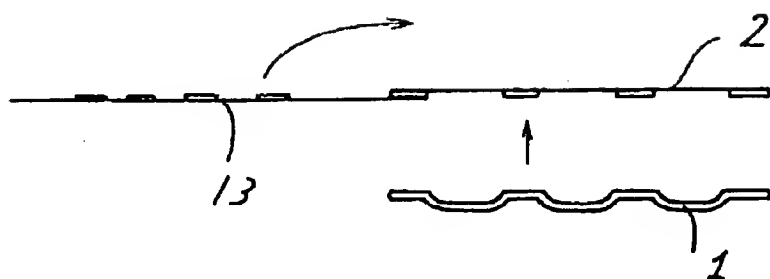
第 19 図



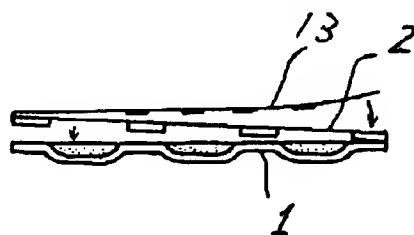
第 20 図



221



第 2 / 图



第 22 图